

令和7年度

事業計画

学校法人 高知学園

目 次

(ページ)

I 学校法人	1
II 高知学園短期大学附属高知幼稚園	6
III 高知小学校	8
IV 高知中学校	10
V 高知高等学校	12
VI 高知学園短期大学	18
VII 高知学園大学	22
VIII 高知リハビリテーション専門職大学	26

(設置学校の入学定員※1、募集定員※2、所在地)

令和7年4月1日現在

法人・学校名	学 科 等	入学定員 (名)	募集定員 (名)	住 所
学校法人		—	—	高知市北端町 100
高知学園大学	健康科学部	130	130	高知市旭天神町 292-26
	管理栄養学科	(70)	(70)	
	臨床検査学科	(60)	(60)	
	小 計	130	130	
高知リハビリ テーション専 門職大学	リハビリテーション学部	150	150	土佐市高岡町乙 1139-3
	理学療法学専攻	(70)	(70)	
	作業療法学専攻	(40)	(40)	
	言語聴覚学専攻	(40)	(40)	
小 計	150	150		
高知学園短期 大学	幼児保育学科	80	80	高知市旭天神町 292-26
	歯科衛生生学科	40	40	
	看護学科	60	60	
	専攻科	20	20	
	地域看護学専攻	(20)	(20)	
小 計	200	200		
高知高等学校	全日制普通科	420	220	高知市北端町 100
高知中学校		330	120	高知市北端町 100
高知小学校		80	60	高知市北端町 100
高知学園短期 大学附属高知 幼稚園		40	20	高知市北端町 100
高知学園短期 大学附属認可 外保育所		15	10	高知市北端町 100
	合 計	1,365	910	

※1 入学定員は学則（園則）に定める定員

※2 募集定員は学校経営上の目標とする定員

II 学校法人の事業計画

少子化の進展や経済の縮小など、学校運営を取り巻く環境は大変厳しい状況にあり、その中で本法人の直近5ヵ年決算の経常収支差額は支出超過が続いており、極めて厳しい経営状況である。

令和7年4月1日から改正私立学校法が施行され、社会の要請に応え得る実効性のあるガバナンス改革を推進するための制度改正がなされることになったため、本法人においても法の趣旨に則った運営が求められている。

そのような状況を踏まえ、令和7年度の学校法人基本方針として以下の6点の重点実施項目を掲げて事業を行う。

【令和7年度学校法人基本方針の重点実施項目】

- ① 定員確保
- ② 財務の改善
- ③ 私学法改正を踏まえたガバナンス強化と内部統制システムの整備
- ④ コンプライアンスの徹底
- ⑤ ICT化、デジタル化の推進
- ⑥ 総合学園の「教育の柱」として英語教育の充実
- ⑦ 中期経営計画の実行（令和7年度～令和11年度5ヵ年計画）

【重点施策】

①定員確保

- ・募集活動、広報活動の強化をはかる。（学生・生徒数の増加、志願者数の増加に取り組む。）
- ・教育の質向上への取り組みと特色・魅力づくりを進める。
- ・各学校の連携（高大連携、幼小中高連携等）の強化をはかる。

②財務の改善

- ・各学校とも、まずは募集定員の確保を目指す。
- ・人件費比率と経常収支差額の改善に取り組む。
- ・経営企画室との連携と情報の共有をはかる。
- ・令和7年度にスタートする中期経営計画（令7～令11）の実行を進める。
- ・改善の一つとして、幼稚園を新制度の幼稚園（施設型給付）へ移行して経営改善をはかる。

③私学法改正を踏まえたガバナンスの強化と内部統制システムの整備

- ・私立学校法が改正され（令7.4.1施行）、私立学校を運営する学校法人にはガバナンス改革が求められているため、ガバナンスのあり方を見つめ直し、体制の構築を目指す。

- ・指揮命令系統の統一性のための組織規程を遵守した業務運営に努める。
- ・職務権限を明確にする。
- ・監事の業務監査及び三様監査（監事、会計監査人、内部監査）の充実をはかる。
- ・私学法改正を踏まえた内部統制システムの構築と規程等の運用に取り組む。

④コンプライアンスの徹底

- ・寄附行為及び規程を遵守し、確固たる倫理観をもって事業活動を行う。
（不祥事を起こさない。）
- ・法令遵守だけでなく社会的な規範に従い、風通しの良い、働きやすい職場をつくる。
- ・各学校主催や本部主催でのコンプライアンス研修を継続実施する。
（パワハラ、セクハラ等を起こさない。）
- ・発生事案の迅速な対応と再発防止策の徹底に努める。
- ・内部通報制度、外部相談窓口の周知・徹底をはかる。

⑤ICT化、デジタル化の推進

- ・各学校におけるICTを活用した教務、校務事務改善への支援を行う。
- ・各学校の専門人財と本部人財と連携して課題解決に取り組む。
- ・事務の削減等について、出来ることからICT化に取り組む。
（6年度は、年末調整のweb化を実行済み。7年度は、幼稚園事務のICT化を推進する。）

⑥総合学園の「教育の柱」として英語教育の充実

- ・英語教育の充実を総合学園の共通のテーマとして掲げ、全学で連携して取り組む。
- ・実用英語力を身に付けた人財の育成のため、段階に応じて学びや遊びを併用して英語力を高める。
- ・生徒等に英検等の受験も勧め、身に付けた英語力を進学や就職に活かせるよう取り組む。
- ・HPはもちろんのこと授業参観やオープンキャンパス、学校説明会等の様々な行事で取組を紹介する。

⑦令和7年中期経営計画の策定（令和7年度～令和11年度5ヵ年計画）

- ・「建学の精神※」を再確認し、各学校のビジョンを明確にする。
※高知学園の建学の精神「至誠をもって事にあたり、人や社会に信頼される人物の育成」
- ・中期経営計画を学校法人の健全経営の柱とする。
- ・中期経営計画策定が曖昧な抽象的な計画にならないように注意する。
- ・中期経営計画のもとに各学校が毎年度の事業計画を策定する。
- ・各学校が具体的施策を策定の上実行し、PDCAを回していく。

Ⅲ 各学校の事業計画

令和7年度 事業計画 (高知学園短期大学附属高知幼稚園)

(1)基本方針、重点目標、教育研究計画

①教育方針

「のびのび」が育つ幼稚園として、自ら気づき、考え、判断して行動することのできる「生きる力」の基礎を養い、心身ともに健康でたくましい子どもを育てる。

②新制度(施設型給付幼稚園)への移行

令和7年度から新制度の幼稚園に移行し、幼小連携を強化するなど幼稚園としての運営強化に努め、教育の質向上を図る。

③教職員の資質向上の取組

- ・年間一人1回の園内研究授業を実施する。
- ・園長・主任等研修会、初任者研修会、夏季研修会、四国研修会等に参加する。

④総合学園を活かした幼児教育の取組

- ・短大との連携の充実: 歯磨き指導・健康教育、教育実習や看護実習の実施。
- ・リハ大との連携の充実: 言語聴覚療法地域支援実習の実施、園児のリハ大訪問。
- ・小学校との連携の充実: 授業への参加。小学校教員による硬筆教室・造形教室。
- ・英語教育の充実: 外国人指導者を招いて英語にふれる機会を増やす。

⑤防災教育の徹底

- ・月1回、園児の避難訓練(水害・地震・火災)の実施。
- ・危機管理の情報の共有と対応の強化。
- ・備蓄品の拡充(水、食料等)

(2)入口戦略(園児募集)

園児募集計画

①園庭開放の充実(毎週水曜日10:00~11:30)と事後連絡の強化

②体験入園説明会の実施(年間4回実施)

③入園児確保のための効果的な募集活動の強化

- ・ホームページの充実や SNS の積極的な活用、ブログでの情報発信を強化する。
- ・ポスティングによるチラシ配布を行う。
- ・街頭宣伝用大型ディスプレイの利用による情報発信を行う。

④課外活動の充実: 硬筆教室、造形教室、英語であそぼう(保育時間内)

学研教室、サッカー教室、ピアノ教室(保育時間外)

⑤園児数の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度※
5月1日園児数	99	92	74	75 ※
年度末園児数	113	98	86+α	75+α

※施設型給付申請数(令 7.5.1 予定数)

(3) 出口戦略(進路指導)

① 高知小学校との積極的な幼小連携

- ・幼小合同のサツマイモの苗植え付けと収穫、焼き芋会の実施。
- ・小学校の施設見学、英語授業への参加。
- ・小学生による園児への絵本の読み聞かせ。
- ・小学校のプールと人工芝のグラウンド利用。

② 高知小学校への進学率を高めるための取組

- ・小学校の学校通信「たちばな」の全家庭への配布。
- ・小学校から幼稚園保護者への学校説明会の開催。

③ 高知小学校への進学率

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
卒園児数	35	39	22
高知小進学者数	19	13	10
進学率	54%	33%	45%

(4) その他(人事計画等)

① 人事計画

- ・本務教員8名、兼務教員6名、兼務職員4名、計18名

② 安心・安全対策

- ・感染症(新型コロナ、インフルエンザ、マイコプラズマ、アデノウィルス、溶連菌等)予防対策の徹底(マスク・手洗い・うがい)と職員の知識習得の励行。
- ・職場におけるコンプライアンスの徹底と職員研修の実施。
- ・通園バスの安全管理(安全管理マニュアルの徹底)。

③ 高知中学校・高等学校との交流による幼児教育の幅の拡大

- ・中学校家庭科授業(3年生)による園児との交流。
- ・高校生による夏休みのボランティア活動の実施。

④ 認定こども園への移行についての検討

令和7年度 事業計画 (学校名: 高知小学校)

(1) 基本方針、重点目標、教育研究計画

◎「紳士・淑女」に育つ学校づくりに邁進する。⇒ 魅力ある学校づくりの推進。

(落ち着いた学習環境、教職員の丁寧な対応と高い指導力、英語教育・科学教育・情報教育の深化、アフタースクールの充実)

①教員の指導力・対応力をさらに向上させる。

- ・授業力の向上⇒授業研究、講師の招聘、先進校視察等 ※若年教員指導に重点
- ・学級経営・教科経営力の向上⇒「寄り添う気持ちと姿勢」を全教職員で共有
- ・コンプライアンスへの意識向上⇒中高との合同研修、または自校での研修

②安心安全な学校・学級づくりを実現する。

- ・Q-U、「君のこと教えてシート」の効果的な活用(PDCA サイクル)
- ・接続架け橋期(幼から小へ)の指導を見直し、不適応・不登校児を生じさせない。
- ・特別支援教育の一層の理解促進
- ・危機管理マニュアルの見直しと徹底

③確かな学力の定着と向上を図る。

- ・英語授業のさらなる充実と積極的なアウトプット活動
(台湾慈濟大学附属高級中学小学部との交流や高知へのインバウンド客との出会いなどを企画)
- ・英語授業の保護者等への積極的な公開
- ・基礎基本の徹底とキュビナ等の学習ソフトの積極的な活用
- ・特別活動や生活・総合を連動させた活動の積極展開(プレゼンテーション力、コミュニケーション力の向上)
- ・知的好奇心を高める授業やイベントの実現。

(2) 入口戦略(学生募集) ※募集定員(64名)確保を目指す。

①現在籍児童の保護者の評判を高める。

- ・安心安全な学級経営と丁寧な対応の徹底
- ・授業等学習活動の積極的な発信

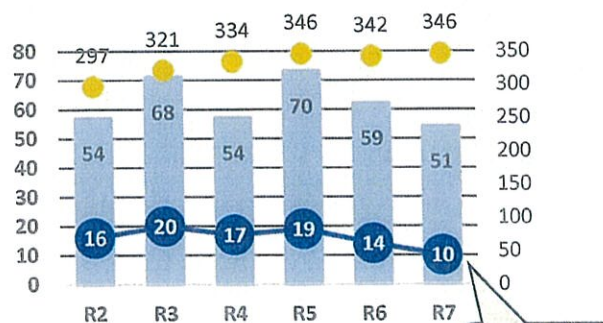
②高知幼稚園からの入学者を増やす。

- ・早期の学校説明会の開催と児童間の交流の促進
- ・教員間の交流会(授業等の参観を含む)の定期開催

③効果的・効率的な宣伝を行う。

- ・オープンスクール、トライスクール、見学会での魅力発信と参加者への後追い宣伝活動の促進
- ・園長等対象の学校見学会の対象拡大
- ・地道な園訪問と指定園等ピンポイント訪問及び交流
- ・SNSの積極的活用
- ・特別活動や生活・総合(SDGs)を連動させた地域貢献活動の展開
- ・各種コンクールへの積極的参加と実績紹介
- ・検定(英語・漢字・算数)会場として検定実施及び実績紹介

〈児童数・入学者数の推移〉



○内は高知幼稚園からの入学者数。

(3) 出口戦略(進路指導)

① 希望する中学校への進学保証

- ・基礎基本の徹底
- ・知的好奇心を刺激する質の高い授業
- ・書く力の向上
- ・放課後・長期休業中等の補習
- ・私学テスト(5・6年生)の定期実施と校長との個別面談

② 内部(高知中)進学者の増加

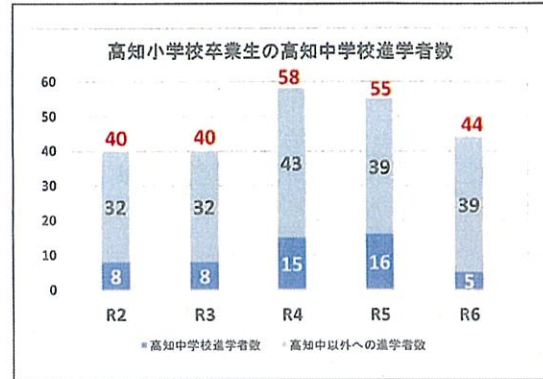
- ・小中連携会の定期開催と課題・改善方策の協議
⇒ 相互授業参観や中学教員による小学校での授業など、教科間での連携促進
- ・高知中学校(入試)説明会の実施
- ・小学校説明会や学校通信等での高知中学校及び総合学園の魅力(連携実績や将来の進路等)紹介

【令和6年度卒業生(44名)進学希望先(R7.1現在)】

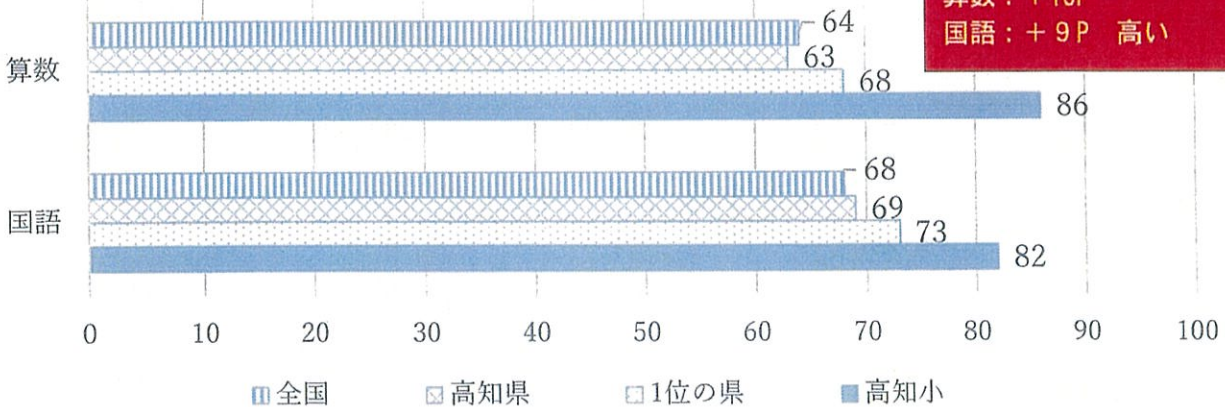
高知中学校	5	土佐塾中学校	3
土佐中学校	16	県内公立中	2
学芸中学校	10	県外私立中	7
国際中学校	1		

【県外私立受験校】

灘中、愛光中、ラサール中、岡山中学校、海陽中、岡山白陵中、日本航空中、



全国学力・学習状況調査結果(R6年度)



全国1位県より
算数：+18P
国語：+9P 高い

(4) その他(人事計画等)

① 人事計画(R6 年度と同数で計画)

- ・本務教員 17名 ・兼務教員 16名 ・本務職員 1名 ・兼務職員 5名

② 災害時の備蓄品の充実と保管場所の検討

- ・備蓄品は PTA に協力いただくよう相談する。
- ・保管場所は、幼小中高との協議の中で検討していく。(R6年度中に担当者会を立ち上げている)

③ その他

- ・R8年度入学生より授業料、入学金の値上げを行う予定である。
- ・タブレット端末の個人購入実施について、調査・検討を行う。(現在は、学校予算で購入またはリース契約)

令和7年度 事業計画 (学校名: 高知中学校)

(1) 基本方針、重点目標、教育研究計画

- ①基本方針: 高知学園の建学の精神「至誠をもって事にあたり、人や社会に信頼される人物の育成」
- ・学校生活の三原則: 「正しい身なり」「挨拶の励行」「清掃の徹底」
 - ・教育目標: 「心の教育」「人間教育」を通じて、「たくましい心とからだ」、「確かな学力」、「豊かな情操」、「信頼される人間」、「自立」
- ②重点目標: 中学校の教育の質の改善
- ・授業力の向上と学習指導の充実
 - ア. 生徒が楽しい授業の実践
 - イ. 教員の資質・指導力を向上し、授業力を上げる
 - ウ. 特進コースの活性化
 - エ. 不登校等のサポート態勢の充実
- ③英語教育の充実
- ・英語への取組みの意識づけ
 - ・中学校の英語力を上げる
 - ・英検等の受験も勧め、身につけた英語力を活かせる取り組み
- ④教育計画
- *「至誠プログラム」
 - ・礼法(道徳)「至誠」への第一歩 ⇒ 基本的な礼節を身につける
 - ・NIE活動「ことばの力育成プログラム」⇒ 論理的思考力育成の入口
 - ・学びマイプラン「テーマ学習ノート」⇒ 探究的な学びへの導入

(2) 入口戦略(生徒募集)

- ①入学生の確保と360人規模の学校経営
- ・経営上適正な入学生徒数(中学120人)の確保
 - ・高知小学校からの内進者の増加
 - ・女子生徒の増加(部活動生徒を含め)
 - ・部活動推薦生徒の増加
- ②学校広報の充実
- ・HPの充実
 - ・SNS活用と即応性
 - ・公立小学校への説明会(学校案内配布時)
 - ・高知小学校中学年の保護者への説明会(内進者の増加)
 - ・こうち私立中高合同フェアへの参加
- ③入試説明会
- ・特進コースの特徴
 - ・進路実績の公表
 - ・学校生活紹介(生徒会生徒によるトーク)
 - ・部活動紹介

(3) 出口戦略(進路指導)

① 中学校

- ・勉強の土台づくり
- ・家庭学習の習慣化
- ・高校卒業時を見据えた進路指導

② 将来の進路に対する意識の醸成

- ・中 1、中 2 で基礎を固め、中 3 段階で進路に対する意識調査の実施
- ・高知工科大学のキャンパス訪問等への参加
- ・法人内大学(学園大、同短期大学、リハビリテーション専門職大学)への内進希望の確認

(4) その他(人事計画等)

① 学校規模、学校経営戦略に見合う人員配置

- ・生徒数を考慮した中学校教職員の適正配置

② 時代に即した教育内容に見合う教員の資質・指導力の定着

- ・ICT機器活用のスキルを高め、授業改善、授業内容の充実
- ・自ら課題発見に取り組み、考える力を育む授業づくり
- ・特別支援教育の視点に立った教育活動
- ・不登校生徒への支援の強化
- ・危機管理意識に基づく(防災、コンプライアンスの遵守等)教育活動

③ 教職員の働き方

- ・入試事務や成績処理等、ICTを活用した事務処理時間の軽減を図る
- ・連携と対話を重視し、風通しの良い職場づくり

④ 魅力ある学校施設

- ・体育館、グラウンド等、生徒募集に欠かせない施設の整備

令和7年度 事業計画 (学校名: 高知高等学校)

(1) 基本方針、重点目標、教育研究計画

- ①基本方針: 高知学園の建学の精神「至誠をもって事にあたり、人や社会に信頼される人物の育成」
 - ・学校生活の三原則: 「正しい身なり」「挨拶の励行」「清掃の徹底」
 - ・教育目標: 「たくましい心とからだ」、「確かな学力」、「豊かな情操」、「信頼される人間」、「自立」

- ②重点目標: スポーツや各自の特性を活かした進学に強い学校
 - ・入学生の確保と総合学園の強みを活かした学校経営
 - ・教員の資質・指導力の向上と授業改善
 - ・学習指導、進路指導の充実
 - ・特進コースの活性化
- ③英語教育の充実
 - ・英検等の受験も勧め、身につけた英語力を進学や就職にいかせる取り組み
 - ・実践的な英語力を身につけさせる授業時間の増加
- ④教育計画
 - * BYOD(Bring Your Own Device ※個人情報端末(PC等)の持込みによる教育充実)とICT教育
 - ・情報活用の実践力
 - ・情報の科学的な理解
 - ・情報社会に参加する態度
 - * 生徒の目的に合わせた3コースの充実
 - ・スポーツを生かした進路選択
 - ・学びの充実と進路開拓
 - ・国公立難関私学への挑戦

(2) 入口戦略(生徒募集)

- ①入学生の確保と660人規模の学校経営
 - ・経営上適正な生徒数(高等学校220人)の確保
 - ・推薦入試生徒枠の増加
 - ・女子生徒の増加(部活動生徒を含め)
- ②学校広報の充実
 - ・HPの充実
 - ・SNS活用と即応性
 - ・公立中学校への説明会(高知市周辺への拡大)
 - ・高知中学校3年生保護者への説明会
 - ・こうち私立中高合同フェアへの参加
- ③オープンスクール、入試説明会
 - ・高知学園独自の医療健康系プログラム
 - ・学園大学、同短期大学、リハビリテーション専門職大学の学生による法人大学案内
 - ・特進コースの特徴、進路実績の公表
- ④関係機関等との連携
 - ・公立中学校、義務教育学校進路担当者向け説明会の充実

(3) 出口戦略(進路指導)

① 高等学校

- ・特進コースの活性化
- ・日頃から自信を持たせ、ワンランク上を目指す進路指導
- ・早い段階での進路決定ができる働きかけ
- ・部活動顧問と担任との連携

② 高大連携

- ・学園大、同短期大学、リハビリテーション専門職大学との高大連携プログラムの活性化
- ・県内国公立大学との連携
- ・法人内大学への内進者の増加

(4) その他(人事計画等)

① 学校規模、学校経営戦略に見合う人員配置

- ・生徒数を考慮した高等学校の教職員の適正配置

② 時代に即した教育内容に見合う教員の資質・指導力の定着

- ・ICT機器活用のスキルを高め、授業改善、授業内容の充実
- ・自ら課題発見に取り組み、考える力を育む授業づくり
- ・特別支援教育の視点に立った教育活動
- ・不登校生徒への支援の強化
- ・危機管理意識に基づく(防災、コンプライアンスの遵守等)教育活動

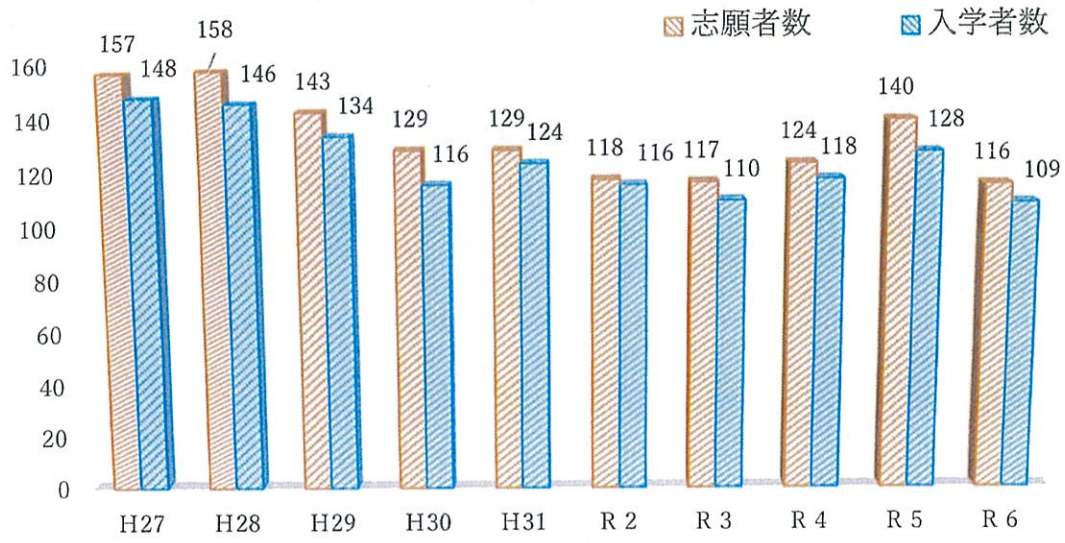
③ 教職員の働き方

- ・入試事務や成績処理等、ICTを活用した事務処理時間の軽減を図る
- ・連携と対話を重視し、風通しの良い職場づくり

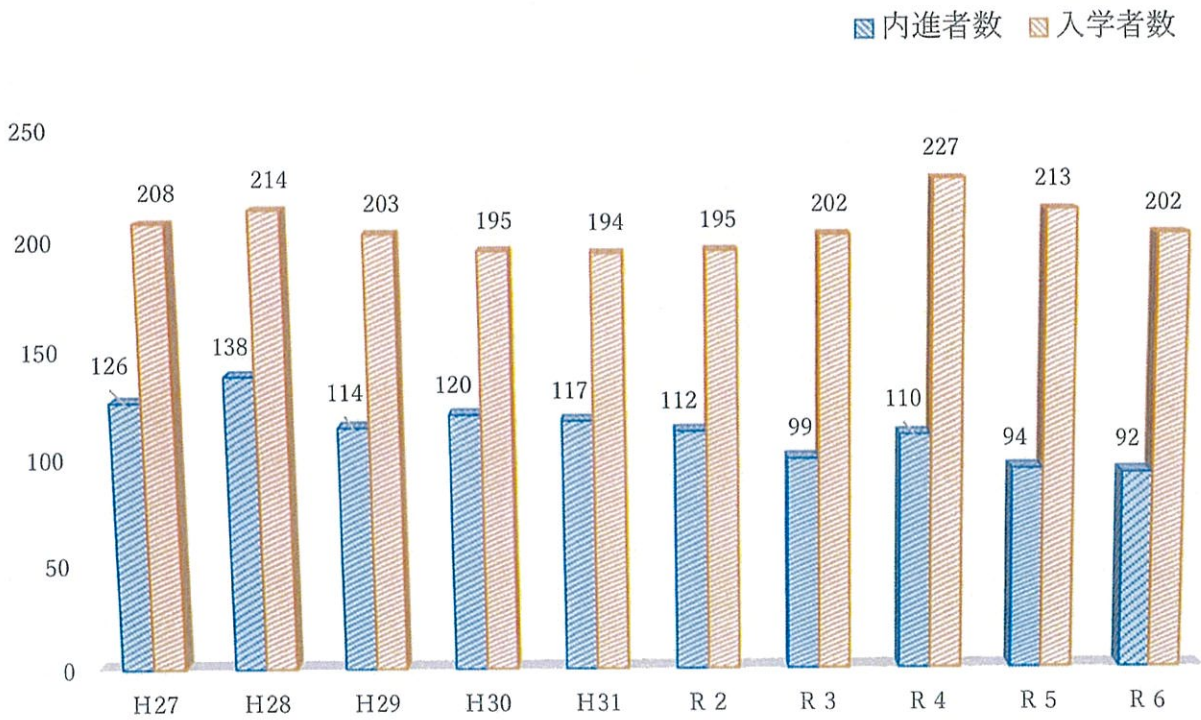
④ 魅力ある学校施設

- ・体育館、グラウンド、寮等、生徒募集に欠かせない施設の整備

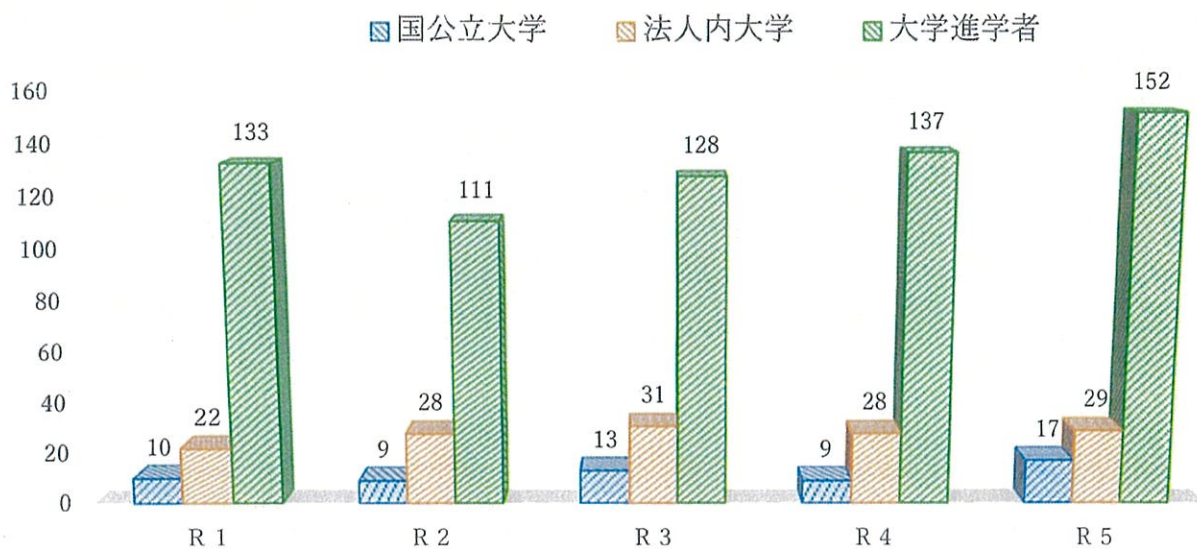
中学校入学者数



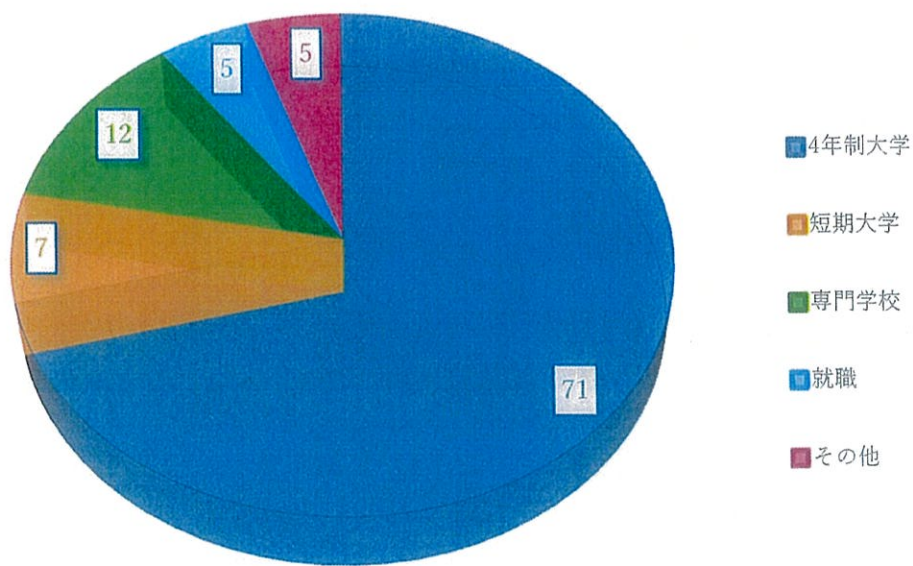
高校入学者数



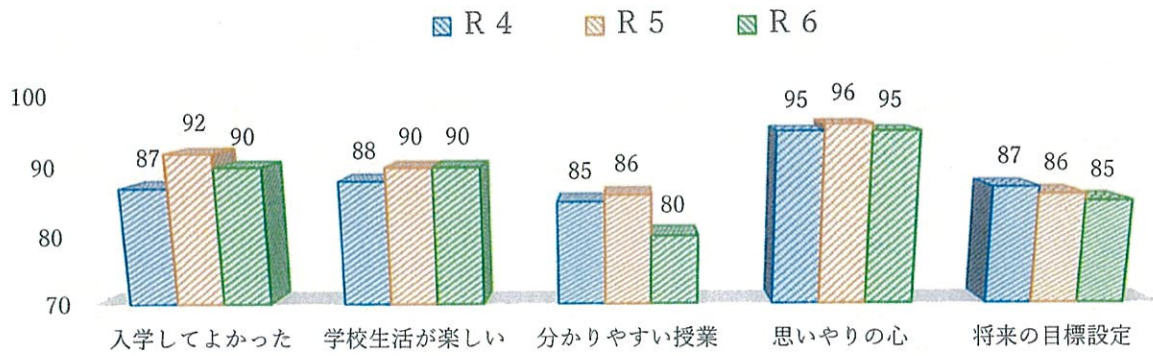
大学進学状況



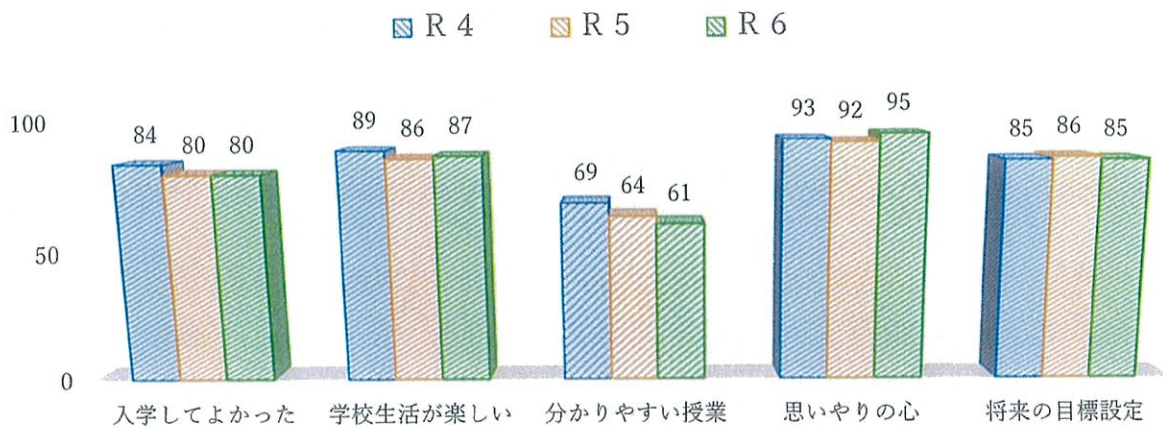
令和5年度卒業生の進路 (単位: %)



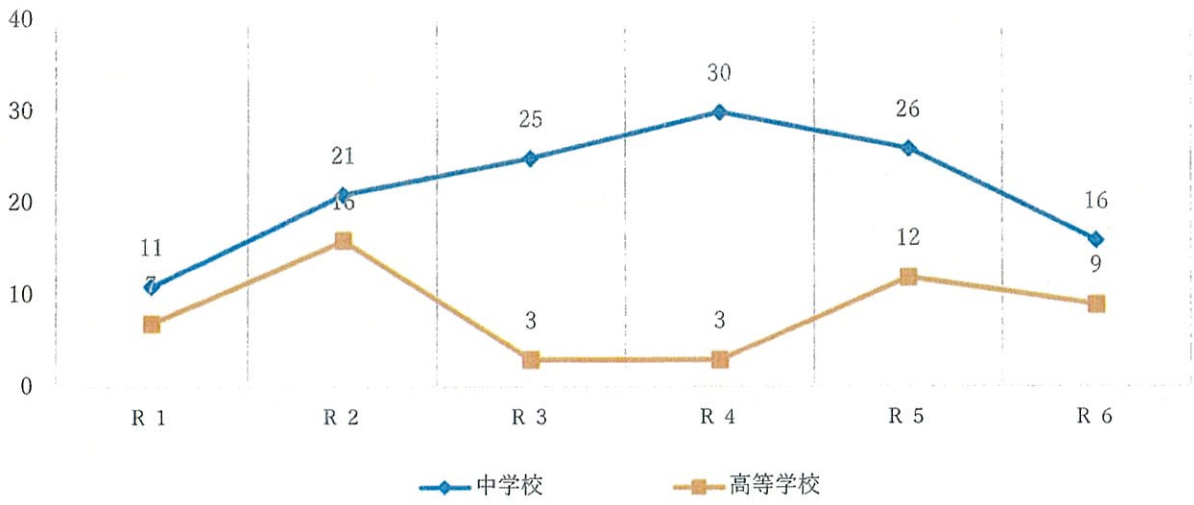
中学校 学校評価（単位：％）



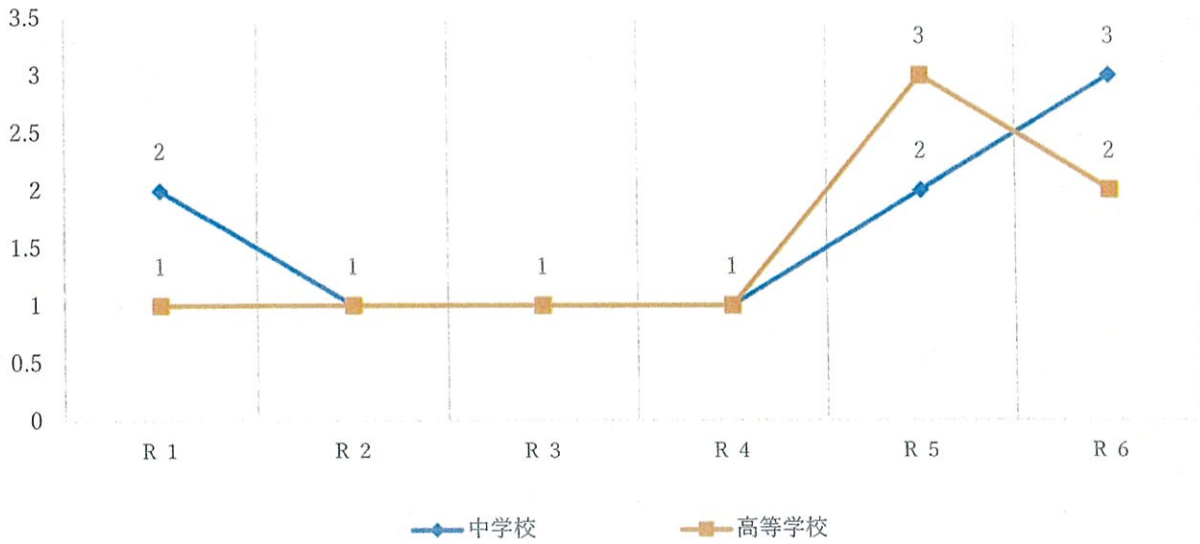
高等学校 学校評価（単位：％）



不登校件数



いじめ件数



(1)基本方針、重点目標、教育研究計画

①財政の見直し計画の実行

- ・人件費の削減を具体的に進める。
 - ▷ 非常勤講師の担当科目で可能なものは常勤教員(大学・短大)が担当する。
 - ▷ 高知リハビリテーション専門職大学との人事交流を増加する。
- ・研究費の在り方を変更する。

②組織の見直し計画の実行

- ・学長・副学長直下に「大学改革・入試広報係」を置き、広報活動及び経営戦略の実行を行うことで、積極的な改革を進める。
- ・学内に「研究推進部」を組織し、教員の研究活動の一層の推進を図る。
- ・高大連携の再構築を実行する(医療・健康系進学プログラムの見直し)。

③教育の再構築

- ・全学的に教育課程を見直すことで、現在の時代に即した、短期大学に相応しい科目を学生が学べるようにする。
- ・Wi-Fi環境の整備に伴うICTを活用した授業を全教員が全面展開する。
- ・企業や関係団体との包括連携による研究力の向上と教育の質の向上

(2)入口戦略(学生募集)

①広報プロジェクトチームの活動を進める。

- ・年間計画をたて、高校訪問の時期、内容を具体的に検討し実行する。
- ・インターネットを活用した広報活動を積極的に進める。
- ・入試説明会については、過去の実績等を精査し、効果的・効率的に活用する。
- ・IR推進室と連携した学生募集戦略の構築

②オープンキャンパスの見直し

- ・オープンキャンパスの内容について、参加者のアンケート等をもとに改善していく。
- ・毎日がオープンキャンパスについては継続して進めていく。

③広報ターゲットの拡大

- ・大学名、学部・学科名の浸透及び各学科で取得できる資格を生かした職業について、より広く、深く広報していく。
 - ▷ 中学生を対象とした職業体験フェアを県内各地で実施
 - ▷ 高知学園全体の学園祭開催

④職能団体等と連携した広報・募集活動の実施

(3) 出口戦略(進路指導)

① 国家試験対策

- ・全国平均以上の合格率を達成するための更なる分析と対策に必要な援助を積極的に行う。

② 就職希望者の全員就職

- ・学科と事務職員の協働により、学生一人ひとりの望む就職の実現
- ・新たな就職先の開拓に取り組む。

③ 公務員等

- ・公務員や教員希望の学生対象に、受験講座を準備し、実施する。

④ 進学

- ・本学専攻科について、入学時からの説明を継続する。
- ・大学への進学を実現させるため、他大学との提携を積極的に活用する。また、過去の進学状況を踏まえた指導を行う。

(4) その他(人事計画等)

① 人事計画

- ・定期的に学科長ヒアリングを行い、大学で教育研究を行うに相応しい学位、業績のある教員を職位・年齢のバランスを考慮して配置する。
- ・より機動的な事務局の体制を確立するため、退職者を踏まえた配置、若返りを図り採用計画を立てていく。

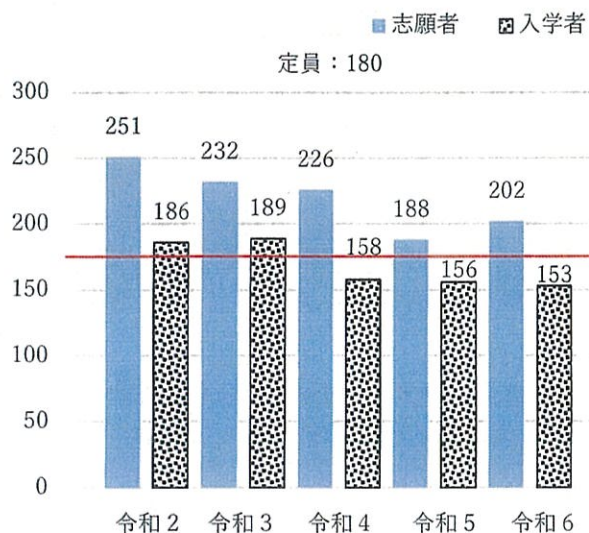
② 情報公開

- ・地域に開かれた大学として必要な情報の公開を推進していく。
- ・社会状況を踏まえた規程の見直しや新設

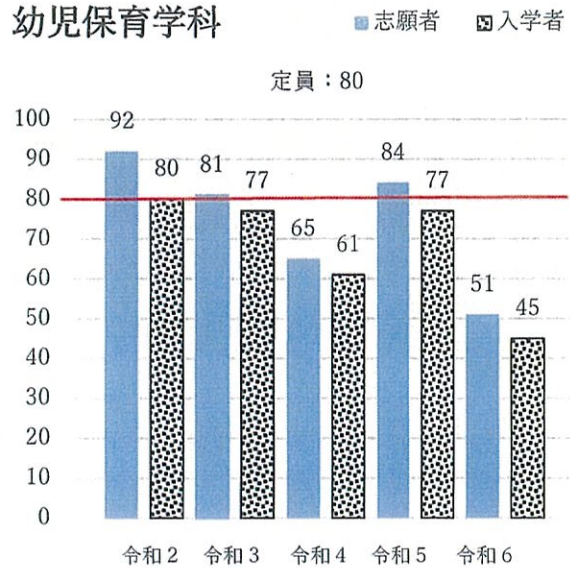
④ ソフト面、ハード面の整備

- ・Wi-Fi 環境の整備に伴い、ペーパーレスに積極的に取り組むと共に、事務作業のICT化を促進し、業務の効率化を進める。
- ・Windows10 のサポート期限切れに伴う教職員の PC 入替(型式が旧いため、更新不可)
- ・老朽化に伴う校舎の改修(館内外塗装、トイレ整備、教室の机・椅子の整備 など)

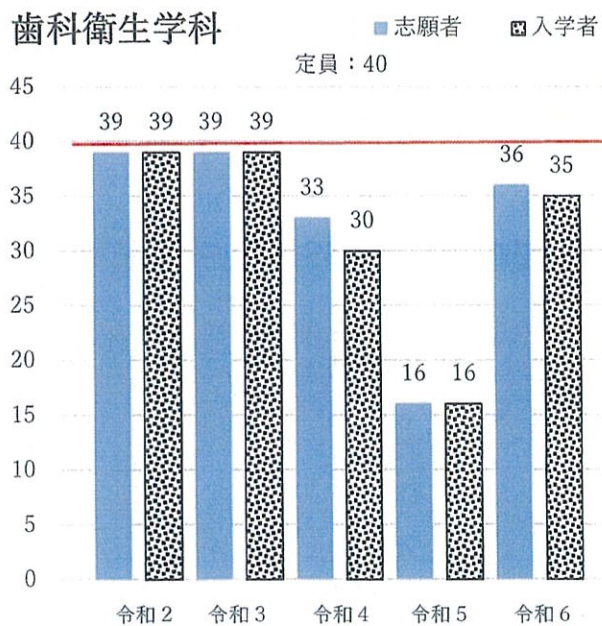
短期大学志願者・入学者数



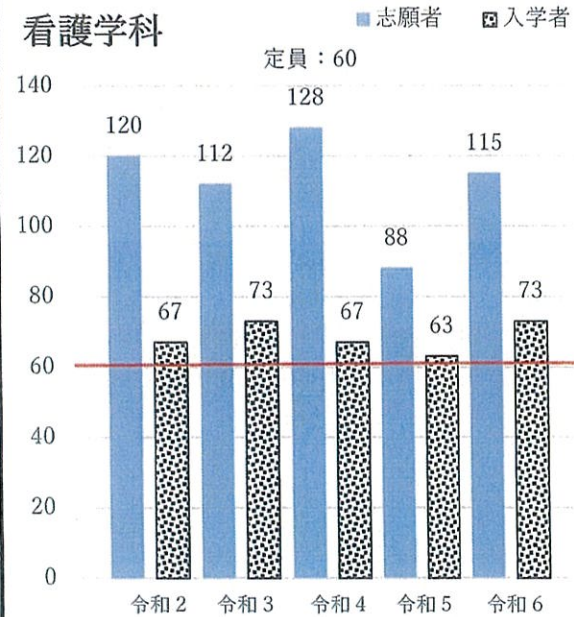
幼児保育学科



歯科衛生学科



看護学科



令和5年度就職状況

学科	卒業 生数	就職希 望者数	就職決定数		その他	
			県内	県外		
幼児保育	56	53	53	51	2	進学 1、家庭 1、(就職を希望しない) 1
歯科衛生	35	26	26	26	0	家庭 1、(就職を希望しない) 8
看護	65	42	42	24	18	進学 21、(就職を希望しない) 2
地域看護	21	21	21	13	8	—

※進学状況：幼児保育学科(1)：東京未来大学
看護学科(21)：専攻科地域看護学専攻(20)、四国大学(1)

令和5年度国家試験

歯科衛生学科 第33回歯科衛生士国家試験(令和5年度)新卒

	受験者数	合格者数	合格率(%)
高知学園短期大学	32	28	87.5
全国	—	—	92.4

看護学科 第113回保健師国家試験(令和5年度)新卒

	受験者数	合格者数	合格率(%)
高知学園短期大学	63	59	93.6
全国	—	—	87.8

専攻科地域看護学専攻 第110回保健師国家試験(令和5年度)新卒

	受験者数	合格者数	合格率(%)
高知学園短期大学	21	21	100.0
全国	—	—	97.7

(1)基本方針、重点目標、教育研究計画

①財政の見直し計画の実行

- ・人件費の削減を具体的に進める。
 - ▷ 非常勤講師の担当科目で可能なものは常勤教員(大学・短大)が担当する。
 - ▷ 高知リハビリテーション専門職大学との人事交流を増加する。
- ・研究費の在り方を変更する。

②組織の見直し計画の実行

- ・学長・副学長直下に「大学改革・入試広報係」を置き、広報活動及び経営戦略の実行を行うことで、積極的な改革を進める。
- ・学内に「研究推進部」を組織し、教員の研究活動の一層の推進を図る。
- ・高大連携の再構築を実行する(医療・健康系進学プログラムの見直し)。

③教育の再構築

- ・全学的に教育課程を見直すことで、現在の時代に即した、大学に相応しい科目を学生が学べるようにする。
- ・管理栄養学科の選択の多様性について検討を行い、社会が求める人材教育を行う。
- ・Wi-Fi 環境の整備に伴う ICT を活用した授業を全教員が全面展開する。
- ・企業や関係団体との包括連携による研究力の向上と教育の質の向上

(2)入口戦略(学生募集)

①広報プロジェクトチームの活動を進める。

- ・年間計画をたて、高校訪問の時期、内容を具体的に検討し実行する。
- ・インターネットを活用した広報活動を積極的に進める。
- ・入試説明会については、過去の実績等を精査し、効果的・効率的に活用する。
- ・IR 推進室と連携した学生募集戦略の構築

②オープンキャンパスの見直し

- ・オープンキャンパスの内容について、参加者のアンケート等をもとに改善していく。
- ・毎日がオープンキャンパスについては継続して進めていく。

③広報ターゲットの拡大

- ・大学名、学部・学科名の浸透及び各学科で取得できる資格を生かした職業について、より広く、深く広報していく。
 - ▷ 中学生を対象とした職業体験フェアを県内各地で実施
 - ▷ 学科独自の体験企画の継続実施(「臨床検査をのぞいてみよう」など)
 - ▷ 高知学園全体の学園祭開催

④職能団体等と連携した広報・募集活動の実施

(3) 出口戦略(進路指導)

① 国家試験対策

- ・全国平均以上の合格率を達成するための更なる分析と対策に必要な援助を積極的に行う。

② 就職希望者の全員就職

- ・学科と事務職員の協働により、学生一人ひとりの望む就職の実現
- ・新たな就職先の開拓に取り組む。

③ 公務員等

- ・公務員や教員希望の学生対象に、受験講座を準備し、実施する。

④ 進学

- ・大学院への進学を実現させるため、他大学の大学院との提携を積極的に進める。

(4) その他(人事計画等)

① 人事計画

- ・定期的に学科長ヒアリングを行い、大学で教育研究を行うに相応しい学位、業績のある教員を職位・年齢のバランスを考慮して配置する。
- ・より機動的な事務局の体制を確立するため、退職者を踏まえた配置、若返りを図り採用計画を立てていく。

② 情報公開

- ・地域に開かれた大学として必要な情報の公開を推進していく。

③ 規程の整備

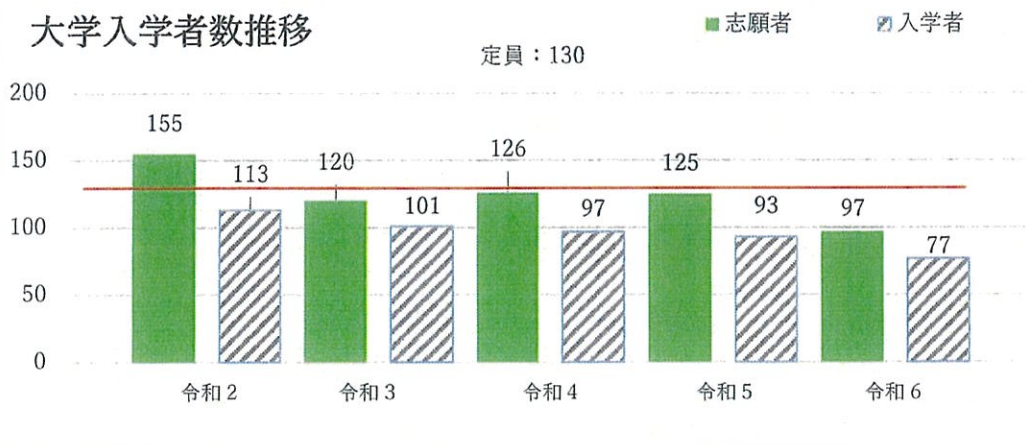
- ・社会状況を踏まえた規程の見直しや新設

④ ソフト面、ハード面の整備

- ・Wi-Fi 環境の整備に伴い、ペーパーレスに積極的に取り組むと共に、事務作業のICT化を促進し、業務の効率化を進める。
- ・Windows10 のサポート期限切れに伴う教職員の PC 入替(型式が旧いため、更新不可)
- ・老朽化に伴う校舎の改修(8号館外壁ほか館内外塗装、トイレ整備、教室の机・椅子の整備 など)

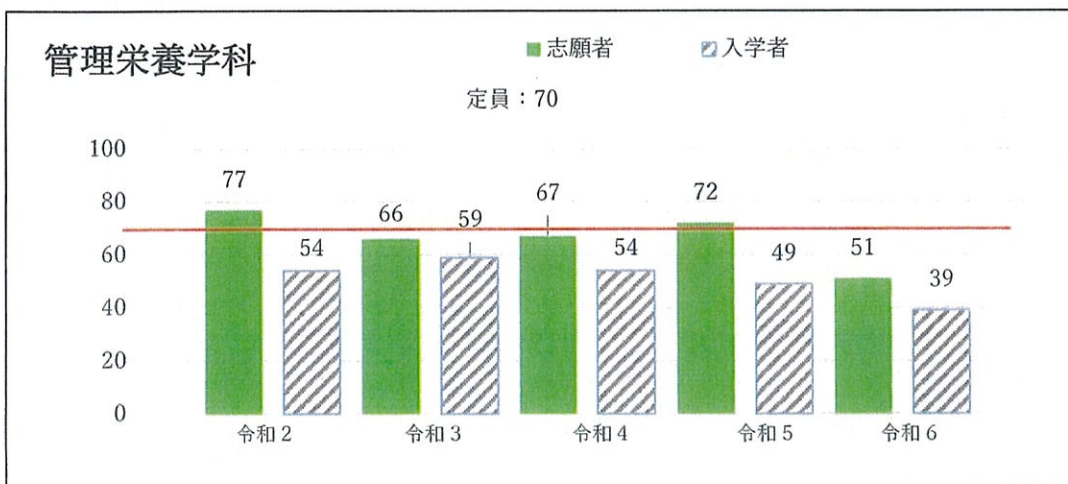
大学入学者数推移

定員：130



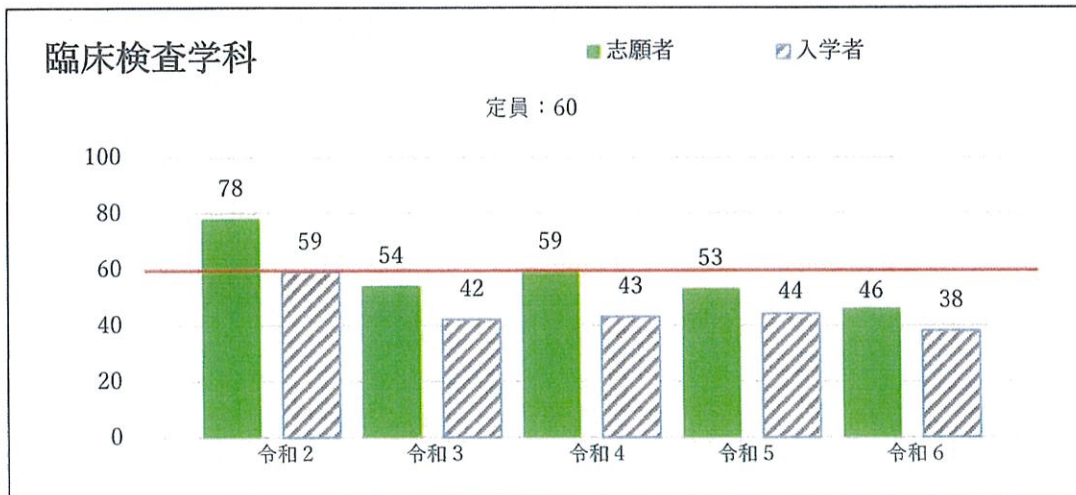
管理栄養学科

定員：70



臨床検査学科

定員：60



令和5年度就職状況

学科	卒業生数	就職希望者数	就職決定数		その他	
			県内	県外		
管理栄養	44	40	40	33	7	進学1、(就職を希望しない) 3
臨床検査	54	36	36	25	11	進学2、卒業研修生14、(就職を希望しない) 2

令和5年度国家試験

管理栄養学科 第38回管理栄養士国家試験(令和5年度)新卒

	受験者数	合格者数	合格率(%)
高知学園大学	36	27	75.0
全国	—	—	80.4

臨床検査学科 第70回臨床検査技師国家試験(令和5年度)新卒

	出願者数	受験者数	合格者数	合格率(%)
高知学園大学	54	54	35	64.8
全国	—	—	—	88.0

令和7年度 事業計画（高知リハビリテーション専門職大学）

(1)基本方針、重点目標、教育研究計画

(基本方針)

- 高知学園の建学の精神「至誠をもって事にあたり、人や社会に信頼される人物の育成」を教育の基本とし、実践的な知識と技術を養い、多様な分野で多職種と連携・協働し将来を切り開いていける国際的な理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を育成する。

(重点目標)

- 職業教育：知識や技術を備え社会に貢献できる実践能力を有する人材の育成
- 適切な財務運営の確立：入学者数の確保、人件費の抑制（非常勤講師の整理、学園大学・短大教員との統合・整理）
- 内部質保証体制の確立：機関別認証評価結果（適合）

(教育研究計画)

①職業教育

○人間教育

- ・豊かな人間性の形成、科学的思考力、問題解決能力、主体的学修力を高める

○実践的知識・実践的技術の修得

- ・「理論-演習-実践-統合」のプロセスにおいて臨床現場での実践を重視

○地域貢献

- ・地域住民の健康寿命の延伸や健康増進、三つのサポートセンターの取組

○学生のアクティブラーニング（能動的学修）を促す手法や少人数による教育

○入学時より学修ポートフォリオを導入し学生個々の学修指導を実施

②教員の研鑽・研究活動の促進

○専任教員に科研費申請を奨励、個人・共同研究など研究活動啓発に取り組む

○学内学会を開催し、研究水準の維持・向上を図る

○FD・SD 活動による教員の資質向上、ガバナンス・コンプライアンス意識の醸成

○職能団体が認定する「認定及び専門療法士」、関連分野の資格取得の促進

③国際化の推進

○海外研修制度の取組

- ・成績優秀者を対象にハワイ大学等での研修を継続、姉妹校締結

○国際化への取組

- ・中国、タイ、ベトナム、オーストラリア等海外の大学との関係を深め、関連校としての連携を目指す

(2) 入口戦略(学生募集)

① 学校訪問

- 公立・私立学校、進学・実業校、大規模・小規模校それぞれの学校に応じた募集活動を行うとともに学校見学の機会を増やす

② 進路ガイダンス

- 関西・中国地方など範囲を広げ、有効なガイダンスには積極的に参加する

③ オープンキャンパスと入試説明会(学園大学・短期大学との同時開催)

- OHP や SNS の有効活用、イベント、キッチンカーの活用など内容を更に充実
- webオープンキャンパスの随時実施
- 入試説明会を高知市内や幡多・安芸方面でも開催

④ 高校教員対象説明会

- 進路担当教員を招いた入試説明会の開催や校長会での説明、四国3県でも計画的に説明会を行う

⑤ オンラインによる個別相談会等の実施

- PC、スマートフォン等を利用したオンラインによる個別相談会・入試説明会を実施

⑥ 高知高校との更なる連携強化(医療・健康系進学プログラムの見直し)

⑦ 広報活動

- SNS を活用した取組の強化、個々に LINE でつながる仕組みの強化
- 職業体験フェスタの開催
- 高知学園全体の学園祭開催

⑧ 学生支援制度の充実(奨学金制度、学納金返還制度、修学奨励費)

(3) 出口戦略(進路指導)

① 国家試験対策

- 各専攻での国家試験合格率 100%を目指し、学生の受験準備を支援する
 - ・ 過去の出題問題などの学習の徹底や模擬試験の実施
 - ・ 成績下位者に対する就学支援教員によるサポート
 - ・ スクールバスの運行、図書館の休日・夜間開館などの環境整備

② 進路選択・キャリア形成に関する支援

- 就職相談室の充実による幅広い分野での就職先の開拓、大学院進学や海外への留学・就職等、進路選択の可能性を支援・拡大
- マナー講習、履歴書セミナー、対面やオンラインでの就職合同説明会の実施

(4) その他(人事計画等)

① 第2期中期目標・中期計画に基づく取り組みの着実な実施

② 適切な財務運営の確立に向けた具体的な検討への取組

- ・ 給与制度の見直し
- ・ 教職員の退職不補充による人件費の抑制
- ・ 学生支援制度の見直し
- ・ 学費(授業料等)の見直し

③ 内部質保証体制の確立

- 機関別認証評価の受審に伴う自己点検・評価の検証等により、内部質保証体制の確立に取り組み、教育研究活動の充実や経営改革の取組に活かしていく。

④ 安全安心な学生生活

- 学生支援室の整備により学生支援体制を更に充実
- 感染症予防対策
- トレーニングジムの整備

令和7年度 事業計画参考資料（高知リハビリテーション専門職大学）

○参考資料

(1)入口の状況(新入生)

区分	定員	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
理学	70	69	63	61	52	91	80	77	70	54	52
作業	40	31	27	22	20	22	23	24	20	16	15
言語	40	31	29	26	23	22	19	22	20	23	21
合計	150	131	119	109	95	135	122	123	110	93	88

(2)出口の状況(令和3年度までは、高知リハビリテーション学院)

①国家試験の状況

※()は全国平均

区分	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
理学療法 学科	40	30	75% (86%)	57	48	84% (88%)	43	43	100% (87%)	64	58	90.6% (95%)
作業療法 学科	37	33	89% (89%)	30	26	87% (88%)	24	23	96% (84%)	29	23	79.3% (91%)
言語療法 学科	18	16	89% (82%)	15	8	53% (75%)	21	20	95% (67%)	26	23	88.5% (72.4)

②就職の状況(就職希望者)(令和6年3月末現在)

	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	就職希望者			就職希望者			就職希望者			就職希望者		
	総 数	就職先内定		総 数	就職先内定		総 数	就職先内定		総 数	就職先内定	
県内		県外	県内		県外	県内		県外	県内		県外	
理学療法学科	37	14	23	51	15	36	42	14	28	57	21	36
作業療法学科	33	16	13	29	19	10	23	15	8	27	12	15
言語療法学科	17	8	8	12	9	3	20	14	6	25	11	14

(3)本務教職員数の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
教員	32	37	37	33	32	32
職員	12	12	14	13	12	12
合計	44	49	51	46	44	44